

第2回 文字図形番号標準化検討委員会議事録

日時	2008年7月25日(金)13時30分～15時
場所	紀伊國屋書店本社セミナールーム
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二階堂 善弘 (関西大学 教授) ・ 谷本 玲大 (無窮会) ・ 垣内 伯之 (日本情報処理開発協会) ・ 上村 圭介 (国際大学グローバル コミュニケーション センター) ・ 黒田 信二郎 (日本電子出版協会) ・ 伊藤 英俊 (コンサルタント) ・ 長村 玄 (ifonts 協議会理事長) ・ 望月 英男 (文字鏡研究会) ・ 島袋 徹 (日本印刷技術協会) ・ 和田 有史 (株式会社平河工業社) ・ 伊藤 隆幸 (昭和情報機器株式会社) ・ 谷田貝 常夫 (文字文化協会 理事長) ・ 古家 時雄 (文字文化協会 副理事長) ・ 萩原 英雄 (昭和情報機器株式会社) ・ 板倉 和治 (インデックスフォント研究会) <p>(欠席)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川忠久 (全国漢文教育学会 会長) ・ 笹原 宏之 (早稲田大学 教授) ・ 相田 満 (国文学研究資料館) ・ 栃原 聖一 (大日本印刷株式会社) ・ 臼井 良雄 (全日本印刷工業組合連合会特別顧問)
配布先	出席者各位様、石川様、笹原様、相田様、栃原様、臼井様
配布資料	<p>第2回文字図形番号標準化委員会の Agenda 文字図形番号標準化委員会 構成表 第1回文字図形番号標準化委員会議事録 識別番号を持った印刷用文字図形の集合 (作成中の規格案) 付属書A (作成中の規格案の付属書のイメージ)</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新委員の紹介 2. 前回議事録の説明 3. JIS原案(作成中)の説明と審議 4. その他
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新委員の紹介 文字文化協会より下記の二名の委員の追加された旨、報告があり承認された。 全日本印刷工業組合連合会 特別顧問 臼井良雄氏 社団法人 日本印刷産業連合会 (個人名については調整中) 2. 前回議事録の説明 事務局より前回議事録の内容について説明された。 3. JIS原案(作成中)の説明と審議 3-1 JIS原案(作成中)の説明 WG主査より、作成中のJIS原案について説明された。(以下は要点) ----- 規格本文 -----

議事内容	<p>< 全体説明 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点での案である。本日は検討が進んでいる箇所を中心に説明し、意見を出されたい。JISテンプレートを用いていないので形式的な観点ではまだ十分ではない。 <p>< 規格名称 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の委員会で紹介されたものから、下記に変更した。 「識別番号を持った印刷用文字図形の集合」 Set of character glyph with identification number for printing and display ・ 英文は逐語的には日本語表題と一致していないが、JISでは許されることである。 ・ 日本語表題に「表示」と入れるとJIS Zになじまないとする見解から。 <p>< 序文 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JIS原案作成の最後の段階で記入する予定。 <p>< 1 適用範囲 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「識別するための識別番号」という表現は再考する。 <p>< 2 引用規格 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考規格とは異なり、規格の中で参照されるもので、規格の一部をなすものである。 <p>< 3 定義 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字図形識別番号の定義の中身は、WG議論を経ていない仮のものである。 <p>< 4 識別番号を持った印刷用文字の図形集合 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 付属書A, Bがあるので、ここでは簡単な説明が書かれる予定。 <p>< 付属書 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 付属書A(番号順)は規定の一部をなす。 ・ 付属書B(部首順)は参考である。 ・ 1文字を30ポイントで表現すると、それぞれ1000ページ弱。規格全体では10万円近い価格になるおそれがある。 ・ 1文字を20ポイントで表現すると(資料2-5)2/3程度に圧縮できる。 ・ 今後、出版形態についても検討する。 <p>< 参考文献 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何らかの形で関係する規格類を載せている。 <p>----- 解説 -----</p> <p>< 全体説明 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本規格は、文字図形(glyph)に番号をつけた、その関係を示すだけのものであるが、情報処理系の文字コード規格のひとつであると誤解されやすいので、解説で十分な説明を行うこととした。 <p>< 1.1 制定の趣旨 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WGの審議を経て、おおよそ内容的にまとまっている。 <p>< 1.2 制定の経緯 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成中である。 <p>< 2 審議中に問題になった事項 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WGでの作業の過程で出てくる疑問や問題を中心に、あとで記載する。 <p>< 3.1 文字図形とその番号について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前提条件として、制作の経緯から話を起こして説明。
------	--

議事内容	<p>< 3.2 運用事例 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のやり方との比較で、この規格をどう使えば効果があがるのかを事例として挙げる。 ・ 想定ユースケースである。 ・ 3.2.3 新聞・放送分野 の現状事例については、事例としての妥当性を検討中。 <p>< 3.3 他の規格との関係 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の文字に関する規格との関係をしっかりと説明する。 ・ 従来の文字コード体系だけでは外字はなくなる。この点を補完するものであることを、特に説明している。 <p>3 - 2 審議 下記の指摘、質問があった。</p> <p>< 全体について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の文字に関する規格との関係をしっかりと説明するため、規格本文はさておいて、まず趣旨を固める意味で解説を中心に議論したいと言う意向と理解した。 <p>< 参考文献 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考文献として下記を挙げることを検討してはどうか。 旋盤用文字図形に関する規格(記録者注。JISZ8903 機械彫刻用標準書体(常用漢字)のこと。) 道路の看板用の文字に関する規格(記録者注。このJISはすでに廃止されている。) <p>< 解説 1.1.1 意義と目的 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1行目の「異体字」「異体字や字形差」の方が良い。他にも「異体字」が使用されている箇所では「異体字や字形差」とするほうが良い。 ・ 6行目の「文字コードの未定義文字については、もとより文字コードでの指定が出来ない」 Unicode 規格の中で、部首等の要素の組合せで文字を表現することが出来る。これについて触れる必要がある。 <p>< 1.1.2 背景と問題点 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6ページ2行目の「字体」(他の箇所での同じ用途での「字体」も同じ) JISX0208 の定義とは異なる。「字形」の方がよいのでは？ (質問者による追記： 本規格はZ規格への登録を想定しているが、一般に、JIS規格と文字との関係を論じる場合には、やはりJISX0208の用語定義や包摂規準を念頭に置く人が多いのではないか？。また、JIS規格相互で同じ用語について、別の意味内容の定義を行うことは、規格相互の整合性の観点から許されているか？という趣旨での質問である。) <p>WGコメント: JISX0208 の定義とは異なるが JISZ8125(印刷用語-デジタル印刷)のみを引用規格として、この中の「字体」の定義を使用している。ここでは曖昧さが残る「字形」の使用はできるだけ避けている。 質問者了解。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6ページ 12行目の「全ての企業や市民……」 順番と表現を変えて「全ての市民生活、企業活動、更には行政サービス現場」としたい。 <p>< 1.1.3 問題を解決する手段 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2行目の「全ての文字をシステムや人に依存せず……」 「文字」は「文字図形」がよい。(他の箇所での同じ用途での「文字」も同じ) 更に、「システムや人に依存せず」は意味不明。
------	---

<p>議事内容</p>	<p>WGコメント:システム毎に異なる指定方法になっている、これを汎用的な方法で指定できる、ということを行っている。表現方法については再考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4行目の「文字コード規格」(他の箇所での同じ用途での「文字コード規格」も同じ) 例えば「文字コード規格における文字セットや包摂基準」とする。文字コード規格には、エンコーディングスキームの定義部分と文字セットを定義した部分がある。ここで言いたいのは文字セットを定義した部分のほう。 <p>WGコメント:文字コードで十分な解決ができない、定義外文字や包摂文字への対処をするのだということの説明する意図である。表現方法については再考する。</p> <p>< 3.1.1 識別番号を持つ文字図形制作の経緯 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2行目の「製作」「制作」もしくは「作製」がよい。 <p>< 3.1.3 文字図形識別番号付与の構造 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2行目の「10進数6桁で表記」 ISO/IEC10036では桁数は9桁である。本規格で定義する番号も9桁で揃えて、その省略表記を6桁にする方法も1つのアイデアかもしれない。検討願いたい。 <p>WGコメント:確かに規格になっている番号を採用せず敢えて6桁を採用する理由が説明できない。9桁にすると付属書A,Bが更に膨大になる問題があるが、省略表記とする手は考えたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5行目の「大漢和辞典番号…」 大修館書店に事前の挨拶をする必要があるかも知れない。検討願いたい。 ・ 7行目の「順番は、文字図形制作要求の発生順…」 現実はずしも正確ではない。そこまで書く必要が無いのでは。 <p>WGコメント:文字配列がランダムであることを説明する必要があると書いてある。</p> <p>< 3.2.2 学術出版 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8行目他に出てくる「DTP」 Desk Top Publishing と Desk Top Prepress の意味があり、どちらの意味で使っているのか？ <p>解説図2で「フォントをDTPメーカーから購入」とあるのは違和感がある。</p> <p>WGコメント:一例としての図での表現である。汎用的な言い方に変えることを検討する。</p> <p>< 3.3.1 文字コードとの関係 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1行目の「何らかの文字コード」「何らかのエンコーディングスキーム」が良い。 <p>WGコメント:エンコーディングスキームでは狭すぎる。</p> <p>< 3.3.2 外字処理の方法 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9行目の「字解」「組み字方式」が良い。 <p>WGコメント:「字解」は業界用語として通用する。更には、TR X 0020で字解を定義している。</p> <p>4. その他</p> <p>次回委員会はWGでの作業進捗状況を見て日程を定める。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------------	---